RECBOX HVL-RS シリーズ ガイドブック HVL-LS シリーズ

レシートや納品書は大切に保管してください。 修理時に保証期間を確認するために必要です。

もくじ

はじめに	
RECBOX の使用目的 4	動作環境·仕様4
使用説明の構成4	各部の名称・機能5
添付品を確認する4	
<i>准件</i> 子 7	C C
	電源を入れる・切る
電源コンセントにつなく8	設定用アフリをインストール9 る 10
コンテンツを RECBOX に保存する	
操作する機器を確認する13	RECBOX を操作:ダウンロード 16
録画機器を操作:ダビング14	RECBOX を操作:自動ダウンロード 19
録画機器を操作:直接録画15	
コンニンツを再生する	22
球囲機器で再生する23	「「「「「「「「「」」」」。 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「
活用する	
活用する RECBOX の空き容量を確認する	
活用する	USB HDD で容量を増設する33 コンテンツを整理する34
活用する	USB HDD で容量を増設する33 コンテンツを整理する34 離れた RECBOX 同士でやり取りする
活用する RECBOX の空き容量を確認する 26 コンテンツを他の機器に転送する(ネット ワーク転送) 28 コンテンツを削除する 31	USB HDD で容量を増設する33 コンテンツを整理する
 活用する	25 USB HDD で容量を増設する33 コンテンツを整理する34 離れた RECBOX 同士でやり取りする 【HVL-RS のみ対応】37 39
 活用する	25 USB HDD で容量を増設する
 活用する	25 USB HDD で容量を増設する
 活用する	25 USB HDD で容量を増設する33 コンテンツを整理する34 離れた RECBOX 同士でやり取りする 【HVL-RS のみ対応】37 39 再生時のトラブル41 その他41
 活用する	25 USB HDD で容量を増設する
 活用する	25 USB HDD で容量を増設する
 活用する	25 USB HDD で容量を増設する
 活用する	25 USB HDD で容量を増設する
 活用する	25 USB HDD で容量を増設する
 活用する	25 USB HDD で容量を増設する

RECBOX の使用目的	
使用説明の構成 4	
添付品を確認する	

動作環境·仕様	
---------	--

RECBOX の使用目的

RECBOXは、録画機器(テレビやレコーダーなど)のコンテンツを保存し、DLNA機能でプレーヤー にコンテンツを提供するネットワーク HDD です。

テレビや録画機器で録画したコンテンツを管理・閲覧してお楽しみいただけます。

使用説明の構成

RECBOX の取扱説明書は、以下のように構成されています。

- ・取扱説明書(本書) RECBOX を設置してお使いになる方法や、RECBOX をお使いになる上での注意事項などが記載 されています。
- ・詳細ガイド(Web上で閲覧) RECBOXをさらに活用する方法などが記載されています。

取扱説明書は、以下の Web ページでご覧になれます

※HVL-RS4のページですが、取扱説明書は共通です。



https://www.iodata.jp/p/228643

添付品を確認する

🗆 AC アダプター

- 🗆 LAN ケーブル
- 取扱説明書(本書)

動作環境·仕様

弊社 Web ページをご覧ください。

• HVL-RS



https://www.iodata.jp/product/hdd/rokuga/hvl-rs/spec.htm



https://www.iodata.jp/product/hdd/rokuga/hvl-ls/spec.htm

各部の名称・機能

▼ 前面

Ι'Ο ΟΑΤΑ		RECBOX
名称	機能	
① POWER ランプ	白点灯······電源 ON / 正常動作時	
	白点滅・・・・・起動処理中 / シャットダウン処理	里中 / 設定処理中
	赤点灯・・・・・録画中・ダビング中	
	赤点滅・・・・・システムエラー発生 /	赤点滅の内容・対処はこちら
	診断ミレル機能による注意	
	黄点灯・・・・・ファームウェア更新通知	
	黄点滅・・・・・ファームウェア更新中	首致华展
	消灯······雷源 OFF	

▼ 背面



名称	機能
②ケーブルフック	AC アダプターのケーブルを引っ掛け、抜けを防止します。
③ POWER ボタン	電源を入 / 切します。(9 ページ)
④電源コネクター	AC アダプターをつなぎます。(8 ページ)
⑤LAN ポート	ルーターにつなぎます。(7 ページ)
⑥USBポート	USB HDD をつなげて RECBOX の容量を増やせます。(33 ページ)
⑦ RESET ボタン	1 秒以上押し続けると、RECBOX の IP アドレスなどを初期化します。
	(39ページ)
⑧セキュリティスロット	盗難対策にケンジントン製ロックを取り付けられます。

底面に冷却用のファンがあります

ふさがないようにご注意ください。

録画機器とつなぐ 7
電源コンセントにつなぐ 8
電源を入れる・切る
設定用アプリをインストールする 10

録画機器とつなぐ

RECBOX をルーターにつなぎます。 録画機器とはルーターを介してつながります。



RECBOX は録画機器に直接つないでもお使いいただけます



※可能な限りルーターにつないでお使いください。 録画機器に直接つなぐと、設定画面からの操作やインターネット接続による アップデートなどができません。

電源コンセントにつなぐ

RECBOX をコンセントにつなぎます。 AC アダプターのケーブルは、ケーブルフックに掛けて抜けを防止します。



アップデートがある際は約10秒黄点滅します。

準備する

電源を入れる・切る

▼ 電源を入れる



背面のPOWERボタンを押す

POWERランプが点滅します。 1分ほどで起動し、点灯に変わります。 ※時間は目安です。

アップデートがある際は10秒ほど黄点滅します。

▼ 電源を切る



設定用アプリをインストールする

RECBOX の設定画面を開き、RECBOX のコンテンツを操作するためのアプリをお使いの端末にインストールします。

・スマホ

App Store や Google Play で「DR Controller」をインストールします。

 Windows パソコン 以下のサイトから「DR Controller」をダウンロードし、インストールします。
 https://www.iodata.jp/p/228643
 ※ HVL-RS4 のページが開きますが、リンクされている DR Controller は共通です。

 Mac 以下のサイトから「Magical Finder」をダウンロードし、インストールします。
 https://www.iodata.jp/p/228643
 ※ HVL-RS4 のページが開きますが、リンクされている Magical Finder は共通です。

▼ 設定画面を開く方法

RECBOX の設定画面では、コンテンツの管理などの操作ができます。

■ DR Controller で設定画面を開く(スマホ、Windows パソコン)

- 1 スマホやパソコンをルーターにつなぐ
- 2 DR Controller を開く



⁻ [HVL-xxxxxx] をタップ / クリックする ⇒これで RECBOX の設定画面が開きます。

診断ミレル機能について

診断ミレル機能は RECBOX の内部ディスク や つないだ USB HDD の健康状態を診断します。 RECBOX の設定画面を初めて開くと、「診断ミレルが設定されていません」と表示されます。 画面の指示に従って診断ミレル機能を有効にすることをおすすめいたします。

■ Magical Finder で設定画面を開く(macOS)

- 1 Mac をルーターにつなぐ
- 2 Magical Finder を開く

3		M	agical Finder	
	ネットワークデ	バイス一覧		ーーー [hvl-xxxxxx] をクリックする
		hvl- WORKGROUP MACアドレス IPv4アドレス 192.1 IPv6アドレス ::/0	68.0.30	
4	IPV4アトレム サブネットマスク デフォルトゲートウェ DNS割当定2	192.188.0.30 255.255.255.0 1 192.188.0.1 DHCP有効 Web設定派面を開く ネットワーク設定を変更		ーーー [Web 設定画面を開く] をクリックする ⇒これで RECBOX の設定画面が開きます。
	ヘルプ	端末情報	パージョン	

診断ミレル機能について

診断ミレル機能は RECBOX の内部ディスク や つないだ USB HDD の健康状態を診断します。 RECBOX の設定画面を初めて開くと、「診断ミレルが設定されていません」と表示されます。 画面の指示に従って診断ミレル機能を有効にすることをおすすめいたします。

コンテンツを RECBOX に保存する

コンテンツとは

データ情報の中身を意味する言葉ですが、本書ではテレビ番組などの著作権保護コンテンツを 指します。

操作する機器を確認する お使いの録画機器(テレビやレコーダーなど)によって、どう操作するかをご案内いたします。

録画機器を操作:ダビング 14 録画機器を操作し、録画機器内のコンテンツを RECBOX に向けてダビングします。

録画機器を操作:直接録画 録画機器を操作し、コンテンツを録画する場所を RECBOX に指定します。

RECBOX を操作:ダウンロード 16 RECBOX を操作し、録画機器内のコンテンツを選んで RECBOX にダウンロードします。

RECBOX を操作:自動ダウンロード RECBOX を操作し、対象となる録画機器と条件を設定します。 その設定内容に合うコンテンツを、自動的に RECBOX にダウンロードします。

操作する機器を確認する

お使いの録画機器(テレビやレコーダーなど)によって、RECBOX 側と録画機器側のどちらを操作するかが異なります。

まずは、表で一般的に該当する操作方法をご案内いたします。

ご案内した操作方法で、コンテンツをダビングできるかご確認ください。

録画機器	操作方法
テレビ	【録画機器を操作:ダビング】(14 ページ)をご覧ください。
レコーダー	【RECBOX を操作:ダウンロード】(16 ページ)をご覧ください。
	※【RECBOX を操作:自動ダウンロード】(19 ページ)にも対応しています。
チューナー	【録画機器を操作:直接録画】(15 ページ)をご覧ください。

上の表の方法でダビングできなかった場合

下の弊社 Web ページにある対応表をご覧になり、お持ちの録画機器の操作方法をご確認ください。



https://www.iodata.jp/pio/io/hdd/hvl-rs_ls.htm

録画機器を操作:ダビング

5

6

7

000000

.....

3 000000

4 000000

録画機器を操作し、録画機器内のコンテンツを RECBOX に向けてダビングします。

もくじ・	──── 録画機器の取扱説明書のもくじを開く
	「ダビング」をキーワードに操作方法のページを 探す ※項目例 ・録画番組を他の録画機器にダビングする ・ネットワーク上の機器にダビングする ・サーバーやレコーダーにダビングする ・録画した番組をダビングする
録画した番組を ダビングする	探した操作方法のページを開く
DTCP-IP サーバー	← 操作方法を確認する ※RECBOX に対応する呼称例

・DTCP-IP 対応サーバー

・AV ネットワークダビング対応機器

ネットワーク上の機器

・ダビング対応機器

・レコーダー

1

2

14

録画機器を操作:直接録画

録画機器を操作し、コンテンツを録画する場所を RECBOX に指定します。

録画する上でのご注意

- ・録画予約時、RECBOX の電源を入れておく必要があります。
- ・番組の録画日時がずれている場合、RECBOXをルーターにつなぎ、時刻を取得してください。
- ・連続した予約を入れると、前の録画番組の後端に、最大90秒の未録画時間が発生します。
- ・時間指定での録画に複数の番組が含まれていた場合、始めの番組よりも著作権保護レベルが 高い番組があった時点で、録画を終了します。
- ・RECBOXは、スカパー!プレミアムサービス対応チューナーとは電源連動できません。





RECBOX を操作: ダウンロード

RECBOX を操作し、録画機器内のコンテンツを選んで RECBOX にダウンロードします。

1 RECBOX の設定画面を開く(10ページ)

2 [ダウンロード] → [メディアサーバーからダウンロード] をタップ / クリックする

3			
	全て選択/解除	ダウンロード	──── 」ンテンツかめる球凹機器をタッノ / クリック∮る
	<u>s</u>	>	



マルチカウント機能

6

2020/07/09

10 分

11 時

次へ

●マルチカウント機能とは

例えば、あるコンテンツのコピーカウントを複数保持するために、3回ダウンロードした場合

- 今まで:コピーカウント1のコンテンツを3個保存していました。
 RECBOXの容量を考え、残りのコピーカウントを諦めることもありました。
- RECBOX (HVL-RS/HVL-LS):マルチカウント機能により、コンテンツは1つでコピー カウントを3回分持ちます。RECBOXの容量を無駄に消費することなく保存できます。



- [次へ] をタップ / クリックする



低解像度優先でダウンロードする

低解像度のコンテンツがある場合、そちらのコン テンツをダウンロードします。

ダウンロード中のご注意

RECBOXと録画機器の電源は切らないでください。

内容を確認し、[開始] をタップ / クリックする ⇒ダウンロードが開始されます。 画面を閉じても問題ありません。

RECBOX を操作:自動ダウンロード

RECBOX を操作し、対象となる録画機器と条件を設定します。 その設定内容に合うコンテンツを、自動的に RECBOX にダウンロードします。

- **1** RECBOX の設定画面を開く(10ページ)
- 2 [ダウンロード] → [自動ダウンロードの設定] をタップ / クリックする







- [追加] をタップ / クリックする ※フィルター(ダウンロード条件)を追加します。 ※使うフィルターがある場合は、手順 11 にお進みください。

コンテンツを RECBOX に保存する



自動ダウンロードの設定を確認する

設定画面の [ダウンロード] → [自動ダウンロードの設定] をご覧ください。

- ・自動ダウンロードの設定は最大8つまで登録できます。
- ・自動ダウンロードの設定をチェックし [操作] をタップすると、自動ダウンロードの設定の変更、 削除、保存状況の確認ができます。
- ・ ダウンロード結果を確認するには、右上の ☆ をタップ / クリックし、〔自動保存履歴〕をご覧 ください。

コンテンツを再生する

RECBOX に保存したコンテンツを再生します。

再生する上でのご注意

- ・「スカパー!プレミアムサービス Link」で録画されたコンテンツの視聴には、「スカパー!プレ ミアムサービス対応チューナー」または対応した DLNA 再生機が必要です。
- ・視聴年齢制限コンテンツは、最大10秒まで視聴できる場合があります。

録画機器で再生する 23 録画機器で RECBOX 内のコンテンツを再生します。

端末で再生する 24 お使いのスマホやパソコンで RECBOX 内のコンテンツを再生します。

録画機器で再生する

録画機器で RECBOX 内のコンテンツを再生します。



端末で再生する

お使いのスマホやパソコンで RECBOX 内のコンテンツを再生します。 対応するアプリを別途インストールし、端末で再生してください。

当社推奨の視聴アプリ(別途ご購入ください) ※当社が独自に動作を検証したものです

- PC TV plus (Windows 版)
- ・DiXiM Play (Windows 版、iOS 版、Android 版、Fire OS 版)
- DiXiM Digital TV for iOS(iOS版、iPadOS版)
- ※HVL-LSはパソコン版だけの対応です。スマホなどでの再生は対象外です。

推奨の視聴アプリでできること

- ・ 宅内の RECBOX 内のコンテンツを再生する
- ・RECBOX内のコンテンツをダウンロードし、持ち出し再生する
- ・ 宅外から RECBOX 内のコンテンツをリモート再生する
 ※ PC TV plus は宅外からのリモート再生に非対応です。

RECBOX の空き容量を確認する DR Controller や設定画面で RECBOX の空き容量を確認します。

コンテンツを他の機器に転送する(ネットワーク転送) 28 RECBOX 内にあるコンテンツを、他の録画機器に転送できます。

コンテンツを削除する RECBOX に保存したコンテンツを削除します。

USB HDD で容量を増設する RECBOX に USB HDD をつないで、 USB HDD にコンテンツを保存します。

コンテンツを整理する 34 コンテンツを入れるための「フォルダー」を作り、作ったフォルダーにコンテンツを移動します。

離れた RECBOX 同士でやり取りする【HVL-RS のみ対応】 37 RECBOX HVL-RS が複数台あれば、インターネット越しにコンテンツをダウンロードすることが できます。

その他の RECBOX の操作については詳細ガイドをご覧ください

詳細ガイドをご覧になるには、RECBOX の設定画面を開き(10ページ)、[マニュアル] を タップ / クリックしてください。

26

RECBOX の空き容量を確認する

DR Controller で RECBOX の空き容量を確認します。

DR Controller で空き容量を確認する(内蔵ディスク) 26
設定画面で空き容量を確認する(内蔵ディスク /USB HDD) 27

▼DR Controller で空き容量を確認する(内蔵ディスク)

この方法では、内蔵ディスクの空き容量だけ確認できます。

- 1 スマホやパソコンを Wi-Fi でルーターにつなぐ
- 2 DR Controller を開く



▼ 設定画面で空き容量を確認する(内蔵ディスク /USB HDD)

1 RECBOX の設定画面を開く(10ページ)

2 [各種設定] → [ディスク管理] をタップ / クリックする

内蔵ディスク	☐ RECBOX の使用容量などが表示される
診断結果 正常 全容量 931.5GB 使用容量 20.6GB 使用率 2 21% HDD混废 37°C HDD稼働時間 952時間	•
USB接続機器	
12.5Kh+07+1731	

コンテンツを他の機器に転送する(ネットワーク転送)

RECBOX 内にあるコンテンツを、他の録画機器に転送できます。

1 RECBOX の設定画面を開く(10ページ)

2 [コンテンツの管理] → [メディアコンテンツ] をタップ / クリックする

3 [フォルダー] → [dlna] → [録画] をタップ / クリックする







転送先の録画機器をタップ / クリックする ※一部の録画機器が表示されない場合、持ち出し機能など録 画機器で変換したコンテンツを選んでおり、そのコンテンツ に対応していない録画機器が表示されていないことが考えら れます。

コンテンツの転送先をタップ / クリックする



マルチカウント機能

●マルチカウント機能とは

例えば、あるコンテンツのコピーカウントを複数保持するために、RECBOX へ3回ネットワーク転送した場合

- 今まで:コピーカウント1のコンテンツを3個保存していました。
 RECBOXの容量を考え、残りのコピーカウントを諦めることもありました。
- RECBOX (HVL-RS/HVL-LS):マルチカウント機能により、コンテンツは1つでコピー カウントを3回分持ちます。RECBOXの容量を無駄に消費することなく保存できます。





コンテンツを他の機器に転送する(ネットワーク転送)



転送を開始する日時を入力して予約を行う

日時を指定して転送できます。

[次へ]をタップ / クリックする

転送完了後、転送先の機器の電源を OFF にする

チェックすると、転送完了後に電源操作に対応し た録画機器の電源を切ることができます。 (日時指定した場合、この項目は表示されません)

録画機器への転送予約を確認する

設定画面の [コンテンツ操作] → [転送予約確認] で確認できます。

内容を確認し、[開始]をタップ / クリックする

9

8

コンテンツを削除する

コンテンツを選んで削除する	
コンテンツを自動削除する	

▼ コンテンツを選んで削除する

1 RECBOX の設定画面を開く(10ページ)

2 [コンテンツの管理] → [メディアコンテンツ] をタップ / クリックする

3 [フォルダー] → [dlna] → [録画] をタップ / クリックする



▼ コンテンツを自動削除する

1 RECBOX の設定画面を開く(10ページ)

2 [サーバーの基本設定] → [自動削除の設定] をタップ / クリックする

3	く 自動削除の設定	 			
	適用 ●				
	自訓消除機能				
	自動削除機能を有効にすると、ハードディスクの空き容量が 少なくなった場合にコンテンツが自動的に削除されます。				
	有效 無效				
	自動削除 実行容量 [GB]				
	保存5(ディスクの空き容量が設定個より少なくなった場合に 、自動削除を実行します。[上限容][365GB]				
	30 GB	│ │			

自動削除からコンテンツを保護する

保護するコンテンツを選び、操作メニューの〔自動削除禁止〕で保護できます。

USB HDD で容量を増設する

RECBOX に USB HDD をつなぎ、コンテンツを保存できる容量を増設します。

用意する USB HDD

接続 (登録) 台数: 1台

※動作確認済 HDD は弊社 HP をご確認ください。

https://www.iodata.jp/pio/io/hdd/hvl-rs_ls.htm

<ご注意>

USB HDD は登録操作を行った RECBOX でのみご利用いただけます。 他の RECBOX でご利用いただく場合、登録しなおしていただく必要があります。 また以下の場合、USB HDD 内のコンテンツは認識できなくなります。ご注意ください。 ・ USB HDD の登録操作をしなおした場合

· RECBOX 本体を修理 · 交換した場合

·RECBOX本体の「ディスク完全フォーマット」操作を行った場合

1 USB HDD を本製品につなぐ

2 RECBOX の設定画面を開く(10ページ)

3 [各種設定] → [USB 機器設定] をタップ / クリックする





USB HDD にコンテンツを保存する場合

RECBOX の内蔵ディスク内の [dlna] → [録画] を選ぶように、[USB] → [録画] を選ぶ ことでコンテンツを保存できます。

※お使いの録画機器によっては、USB HDD に直接コンテンツを保存できません。その場合は、 コンテンツ保存後に内蔵ディスクから USB HDD ヘコンテンツを移動します。(35 ページ)

「ディスク完全フォーマット」はしないでください

使っていた USB HDD 内のコンテンツが認識できなくなります。

コンテンツを整理する

コンテンツを入れるための「フォルダー」を作ります。 その後、作ったフォルダーにコンテンツを移動します。

フォルダーとは

コンテンツを入れておける入れ物です。

フォルダーは階層構造にすることができますので、「スポーツ」フォルダーの中に「サッカー」や「野球」などのフォルダーを作り、ジャンルに合わせて保存しておくことができます。



フォルダーを作る		 	
コンテンツを移動す	ta	 	

▼ フォルダーを作る

- **1** RECBOX の設定画面を開く(10ページ)
- 2 [コンテンツの管理] → [メディアコンテンツ] をタップ / クリックする
- **3** [フォルダー] → [dlna] → [録画] をタップ / クリックする



▼ コンテンツを移動する

1 RECBOX の設定画面を開く(10ページ)

2 [コンテンツの管理] → [メディアコンテンツ] をタップ / クリックする

3 [フォルダー] → [dlna] → [録画] をタップ / クリックする



活用する

離れた RECBOX 同士でやり取りする【HVL-RS のみ対応】

RECBOX HVL-RS が複数台あれば、インターネット越しにコンテンツをダウンロードできます(リモー トダウンロード)。





▼ リモートダウンロードの準備をする

- 1 リモートダウンロードする組み合わせの RECBOX を同じルーターにつなぐ
- 2 ダウンロードする方(ダウンロード先)の RECBOX の設定画面を開く(10ページ) ※ お互いにリモートダウンロードする場合は、両方の RECBOX でこの操作をしてください。
- **3** [ダウンロード] → [リモートダウンロード] をタップ / クリックする





▼ リモートダウンロードする

- 1 ダウンロード先の RECBOX の設定画面を開く(10 ページ)

3	<	リモ	ートダ	ウンロード		Ç	¢
		全て選択/解除			操作	F	
		HVL-1		[RECBO	DX]		

登録したダウンロード元 RECBOX を タップ / クリックする ※両方の RECBOX を同じルーターにつないでいる場合、リ モートダウンロードはできません。

4 後は、通常のダウンロードと同様の手順で操作してください。(16 ページ)

38

困ったときには

RECBOX を使っていて、トラブルがあった場合にご覧ください。

よくあるお問い合わせ

よくあるお問合わせをまとめました。 こちらもご確認ください。

https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/hvl-av.htm

セットアップ時のトラブル

▼ 設定用アプリに RECBOX が表示されない

● RECBOX 前面の POWER ランプを確認します。 白点滅: 記動中などの可能性があります。

しばらく待ってから再度お試しください。

赤点滅:システムエラーのおそれがあります。電源を切り、しばらく時間を空けてから起動しなおし てお試しください。

それでも状態が変わらない場合は、RECBOXを弊社修理センターで点検させていただきますので、修理センターまでお送りください。【アフターサービス】(45ページ)参照。

- LAN ケーブルが、RECBOX およびルーターなどの LAN ポートにつながっているか確認してください。また、LAN ケーブルを交換してみてください。
- ●最新版の設定用アプリをお使いください。
- ●ファイアウォール(セキュリティ関連のソフトウェア)の動作を一時的に停止し、RECBOX が検索されるかお試しください。この方法で RECBOX が検索された場合は、ファイアウォールの除外設定で設定用アプリを登録してください。

▼ RECBOX を簡易的に初期化したい

RECBOX 背面の RESET ボタンを 1 秒間押し続けてください。 POWER ランプが白点滅し、以下を初期化します。

- ・ IP アドレス(DHCP 有効に戻ります)
- ・予約情報(スカパー!HD 録画対応機器や CATV チューナーからの予約録画情報が削除されます)
- ・メディアサーバーデータベース(コンテンツを DLNA 再生機に公開する機能のデータベースを初期 化します)
- ※ RECBOX 内のコンテンツなどは消去されません。
- ※【録画機器を操作:直接録画】(15ページ)で直接録画している場合は、再度予約録画してください。また、IP アドレスを設定している場合は、再度設定してください。

アクセス時のトラブル

▼ 録画機器などから認識されない

●弊社 Web ページで、ご利用の機器が RECBOX の対応機種かご確認ください。



https://www.iodata.jp/pio/io/hdd/hvl-rs_ls.htm

●各機器の電源を切った後、電源コンセントを抜き挿しし、電源を入れなおしてください。

●LAN ケーブルが、RECBOX およびルーターなどの LAN ポートにつながっているか確認してください。また、LAN ケーブルを交換してみてください。

● RECBOX 前面の POWER ランプを確認します。

白点滅:起動中などの可能性があります。

しばらく待ってから再度お試しください。

赤点滅:システムエラーのおそれがあります。電源を切り、しばらく時間を空けてから起動しなおし てお試しください。

それでも状態が変わらない場合は、RECBOXを弊社修理センターで点検させていただきますので、修理センターまでお送りください。【アフターサービス】(45ページ)参照。

▼保存したコンテンツが表示されない

●すでに保存済みのコンテンツをさらに保存した場合、マルチカウント機能が働いていることが考えられます。既存のコンテンツと別のフォルダーに保存する操作をしても、既存のコンテンツのコピーカウントが増加し、別のフォルダーに保存されることはありません。

●簡易的に初期化することで解決することがあります。 【RECBOX を簡易的に初期化したい】(39 ページ)をご覧ください。

設定画面のトラブル

▼ 設定画面で文字を入力できない

- ●入力したい個所をクリックしてみてください。
- RECBOX の設定画面上で入力できる文字には制限があります。詳細ガイドの【文字制限】をご覧 ください。

▼ 設定画面の動作が遅い

- ●以下の動作中は、RECBOX の操作・動作が遅くなる場合があります。
 - ·ファイル再生中 / ダビング中 ·DLNA データベース更新中 ·省電力からの復帰直後
- 無線 LAN を使って設定画面を表示している場合は、無線 LAN の通信状態が良くないと、 RECBOX の操作が遅くなることがあります。

▼ファームウェアの更新が終わらない

- ●お使いの環境やアップデート内容によりかかる時間が異なります。20分ほど時間がかかる場合もありますので、ご了承ください。
- ●30分待っても終わらない場合は、RECBOXの電源スイッチを押して電源を切り、再起動してください。その後、再度ファームウェアを更新してください。

▼ ファームウェアを更新したいが、RECBOX がインターネットにつながっていない
 ●詳細ガイドの【ファームウェアを更新する】をご覧ください。

再生時のトラブル

▼本製品に直接録画したコンテンツを再生すると、映像と音声が乱れている

- ●本製品への録画中は、設定画面の操作やパソコンからのファイルコピー、ネットワークに負荷がかかる操作(同じネットワーク上で大量のデータコピーする、動画サービスの視聴をするなど)をしないでください。これらの操作をすると、映像と音声が乱れるおそれがあります。
- ▼ DR Controller の i をタップ / クリックした画面にある「プレイヤーを起動」が 動作しない
- ●「プレイヤーを起動」にある [サーバーをブラウズする] [デジタルラックをブラウズする] は弊社 HVL-DR シリーズと DiXiM Play SE アプリを組み合わせたときに使える機能です。 本製品では、上記機能は非対応です。

その他

▼ DLNA 公開できるコンテンツ数に制限はありますか?

● 10 万コンテンツまで DLNA 公開できることを確認しております。

お守りください

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項 を記載しています。

ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼危険・警告・注意表示

- 警告 この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を 負うことがあります。
- ⚠ 注意

注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺 の物品に損害を与えたりすることがあります。





1 警告



本製品を修理・改造・分解しない 発火や感電、やけど、故障の原因になります。

) 雷が鳴り出したら、本製品やACアダプター に触れない

発火や感電、やけど、故障の原因になります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置 かない

発火の原因になります。

本製品内に異物(液体・金属等)を入れない コーヒーなどの液体やクリップなどの金属 片が本製品内部に入らないようにしてくだ さい。 特に、天面コネクターに異物を差し込まな いでください。 感電や発火の原因になります。

- 故障や異常のまま、つながない 本製品に故障や異常がある場合は、必ず つないでいる機器から取り外してください。 そのまま使うと、発火・感電・故障の原因 になります。
- 煙がでたり、変なにおいや音がしたら、
 すぐに使うのを止める
 そのまま使うと発火・感電の原因になります。

本製品の小さな部品(ネジなど)を乳幼児の手の届くところに置かない 誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。 万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

中製品の取り付け、取り外し、移動は、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の 電源を切り、コンセントからプラグを抜い てからおこなう 感電の原因になります。

ぬらしたり、水気の多い場所で使わない 水や洗剤などがかかると、隙間から浸み込

- み、発火・感電の原因になります。
- ・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺で のご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの(コップ、花びんなど)を
 上に置かないでください。
- ・万一、本製品がぬれた場合は、絶対に使わないでください。



🛕 注意



本製品を踏まない
破損し、けがの原因に

破損し、けがの原因になります。特に、小 さなお子様にはご注意ください。

人が通行するような場所に配線しない 足を引っ掛けると、けがの原因になります。 \bigcirc

長時間にわたり一定の場所に触れ続けない 本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感 じる場合があります。 長時間にわたり一定の場所に触れ続ける と、低温やけどを起こすおそれがあります。

大切なデータは2重化してください

RECBOX は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。 万一に備え、RECBOX 内に保存する重要なデータについては、必ず他の媒体にもダビングし てください。

RECBOX または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で RECBOX にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

▼ RECBOX を廃棄や譲渡などされる際のご注意

ハードディスクに記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットしただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用して、データを復元・再利用できてしまうことがあります。その結果として、情報が漏洩してしまうおそれもあります。
 そのため、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。
 ※ハードディスク上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくハードディ

スクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

・RECBOX を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

▼ 使用ソフトウェアについて

RECBOX には、GNU General Public License Version3 (GPLv3) に基づいた、ソフトウェアが含まれています。
 変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下の Web ページをご確認ください。
 http://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.ja.html
 これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

▼ その他のご注意

- ・録画中や POWER ランプ点滅中などの動作中に、AC アダプターを抜いたり、RECBOX の電源は 切らないでください。故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。
- RECBOX はローカルネットワーク上でご利用ください。
 RECBOX にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。
 どうしてもグローバル IP を割り当てる場合は、インターネットから攻撃を受けないようにお客様にて
 セキュリティ確保をお願いいたします。
- ・再生に使うテレビやレコーダーによっては、録画番組を再生できない場合があります。



'フターサービス

●本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等の サービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせて いただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。

▶個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー(https://www.iodata.jp/privacy.htm)に基づき、 適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ方法

よくあるご質問、マニュアル、最新ソフトウェア



https://www.iodata.jp/lib/

電話でのお問い合わせ

050-3116-3015

受付 9:00~17:00 月~日曜日(年末年始・夏期休業期間をのぞく) ※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。

メールでのお問い合わせ



https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/landisk

修理の流れ	L
-------	---

修理の流れ	保証期間 1 年間				
1	2	3	4	5	6
修理申込 (申込番号発行)	修理センター に送付	検査	有償時のみ 見積連絡	修理	修理品 返送

①Webで修理申込

【重要】修理申込をおこなうと、申込番号が発行されます。



https://www.iodata.jp/support/after/repair/

※Webページから修理申込がおこなえない場合は、申込番号の代わりに[名前・住所・TEL (FAX)・E-Mail・症状]を書いたメモを商品に同梱してお送りください。

②修理センターに送付

□ 商品一式

□ 申込番号を書いたメモ(Web申込時に発行された番号)

□ レシートや納品書など、購入日を示すもの



※紛失をさけるため宅配便でお送りください。

※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。

※液晶ディスプレイ製品の場合、パネル部分を持つとパネル内部が破損します。取扱いに は、充分注意してください。

※修理の進捗状況は上記Webページでご確認いただけます。(申込番号で検索)

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定(以下「本保証規定」といいます。)に明示した 条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます。)の無料で の修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。)等にしたがった正常な使用状態で故障 した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より 1年間 無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

- 1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 中古品でご購入された場合
- 3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外 部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の 場合
- 5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因す る故障もしくは損傷の場合
- 6) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 7) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の 場合
- 8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 10)保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 11)その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

- 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品 書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、 弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保 証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関し ては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本

製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。

4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

- 1)本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消 失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバッ クアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかん を問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3)本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。 Our company provides the service under this warranty only in Japan.

Memo

【ご注意】

- 1)本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、 複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2)本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、 及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意 図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災 事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗 長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3)本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4)私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断 で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
- 5) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となり ます。

6)本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

【ユーザー登録はこちら】・・・https://ioportal.iodata.jp/

ユーザー登録にはシリアル番号 (S/N) が必要となりますので、メモしておいてください。

シリアル番号(S/N)は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。

(例:ABC1234567ZX)

【使用ソフトウェアについて】

 ・本製品には、GNU General Public License Version3 (GPLv3) に基づいた、ソフトウェアが含まれています。変更済 み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下の Web ページを ご確認ください。

http://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.ja.html

これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

 ・本製品には、OpenSSL Project が、OpenSSL Toolkit(http://www.openssl.org) での使用のために開発したソフトウェ アが含まれています。

本製品には Eric Young(eay@cryptsoft.com) により作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

本製品には Tim Hudson(tjh@cryptsoft.com) により作成されたソフトウェアが含まれています。

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

【アンケートはこちら】 お気づきの点がございましたら、 アンケートにご協力願います。



進化する明日へ Continue thinking 株式アイ・オー・データ機器 ホームページ http://www.iodata.jp/

Ι-Ο ΟΑΤΑ

MANU001364